



秋になっても、気温差が激しいです！

木々の色づきを見ると、秋の深まりを感じるようになりました。朝と昼の気温差が大きいので、かぜをひかないように注意しなければなりません。

すでに県内の学校では、インフルエンザの学級閉鎖がでているそうです。例年より、流行が早いので、今から注意して生活しなくてはなりません。うがい、手洗い、睡眠、栄養、運動で体力をつける・・・予防方法を考えるとたくさんありますね。下記にインフルエンザにかかった場合のお願いを掲載しましたので、ご一読ください。

インフルエンザは、出席停止です

インフルエンザの出席停止期間は「発症後5日を経過し、かつ、解熱後2日間を経過するまで」と法で定められています。

最短期間でも、6日間のご家庭で休養するようになります。発症日は、高熱が出た日ですので「おかしいな？」と思ったら、必ず体温測定をして、医師受診時にお話してください。かかった場合の「登校申出書」「出席停止期間早見表」は、吹上小学校のホームページよりプリントし、保護者の方がご記入ください。（保護者の方が学校に取りに来られる場合は、用紙をお渡ししますのでご連絡ください。）登校可能になりましたら、お子さんに持たせてください。分からないことがありましたら、養護教諭までご連絡ください。



かかった場合の例

①「発症後5日を経過し」

月曜日に発症した場合、発症日（月曜）＋5日間（火曜～土曜）

②「解熱後2日間を経過するまで」

金曜日に熱が下がった場合、解熱日（金曜）＋2日間（土曜～日曜）

①と②の条件を合わせて考えなくてはなりません。ですから例の場合、登校可能日は翌週の月曜になります。最短期間で治癒しても、6日間は家庭で休養することになります。

<インフルエンザの症状>

- ①急に具合が悪くなる ②38℃以上の高熱がでる
 ③さむけ、だるさ ④関節痛や筋肉痛などの全身症状

などの症状がある場合は、すぐに医師受診し、結果を学校まで電話連絡してください。（翌日の連絡帳で報告された場合は、学級閉鎖などの対応が遅れ、集団発生を防ぐことができません）

<吹上小学校TEL 22-1957>



かぜとインフルエンザのちがい

	かぜ	インフルエンザ
始まり方	 <p>のどの痛みや鼻水、くしゃみなどの症状から始まることが多い。</p>	 <p>関節痛や、熱の急な上昇など、全身の症状から始まるが多い。</p>
熱	 <p>37度～38度の熱</p>	 <p>38度以上の高熱</p>
主な症状	 <p>鼻みず、鼻づまり、せき、たん、のどの痛み、腹痛、頭痛</p>	 <p>関節痛、筋肉痛、だるさ、激しい頭痛、悪寒</p>
登校	<p>症状によって判断する。</p>	<p>症状が出てから5日たち、なおかつ、熱が下がってから2日たつまで登校できない。</p>

© 少年写真新聞社 2016

学校でのお茶うがいの実施について・・・

学校でもかぜやインフルエンザの予防のために、11月からうがい指導を実施します。休み時間や昼休みなど、「ガラガラうがい」をしますので、水筒にさました緑茶や紅茶（砂糖なし）などを入れて持たせてください。容器は清潔にし、お茶は毎日新しいものに取りかえてください。

朝のお忙しい時間帯に用意していただくこととなりますが、感染予防のためにご協力をよろしくお願いします。3月まで長期間の実施を予定しています。お世話になります。

お知らせ

11月24日（木）5校時～6校時（13:45～15:20）4年生が「カルビースナック教室」でおやつの学習をします。参加希望の保護者の方は、連絡帳に記入して担任にご連絡ください。